

日本アクチュアリー会 第63回 IT 研究大会 プログラム

2月1日版

2024年2月9日(金)



公益社団法人 日本アクチュアリー会
Think the Future, Manage the Risk

目次

開会式	1
IT 関係優秀論文の表彰	1
ICA2026 東京大会のご紹介	1
IT 研究会活動報告	2
特別講演.....	5
技術グループによる展示.....	6
晩餐会	7
会場案内.....	7
諸連絡	7

※今年度の IT 研究大会は、対面形式で行います。

2月9日（金） 於 大手町野村ビル 17階 大樹生命ホール

○午前の部（10:00 ～ 12:20）

司会

廣田 賢史 君 （大同生命）

開会式

開会の辞

今野 英史 君 （IT 委員長）

挨拶

上田 泰史 君 （日本アクチュアリー会 理事長）

IT 関係優秀論文の表彰

上田 泰史 君 （日本アクチュアリー会 理事長）

ICA2026 東京大会のご紹介

豊島 俊 君 （ICA2026 組織委員会 事務局）

IT 研究会活動報告

10:50 ~ 11:30

IT 研究会第 1 グループ

1. ニューノーマル下での IT 活用・人材育成

0.5 単位<IT>

司会

長瀬 正憲 君 (トーマツ) 神山 祐子 君 (太陽生命)

研究メンバー

藤原 麻由実 君 (住友生命)	金井 達弥 君 (アフラック生命)
松原 徹平 君 (富国生命)	山口 一平 君 (全共連)
桒谷 悠馬 君 (大同生命)	神農 真一 君 (ニッセイ情報)
高橋 昂輝 君 (太陽生命)	安藤 江二 君 (ニッセイ情報)
香東 勇太 君 (太陽生命)	鎌田 大樹 君 (MS&AD システムズ)

■ 要旨

新型コロナウイルス感染拡大に伴い令和 2 年 4 月に発出された緊急事態宣言を契機として、リモートワークや非対面営業など、新たな働き方の必要性が急速に加速した。この流れは令和 5 年 5 月の新型コロナウイルス感染症の 5 類移行後も、with コロナ/after コロナにおける新たな日常「ニューノーマル」として、業務形態の多様化を推進している。

他方、急速な発展を遂げている生成 AI や XR(クロスリアリティ)など「ニューノーマル」に利用できる技術も浸透し、今、働き方に対する時代の転換期を迎えていると考える。

我々第 1 グループでは、ニューノーマル下での IT 活用方法・人材育成方法について、「人材育成」・「営業活動」の観点から現在抱えている課題を考察し、最新事例を踏まえた解決策を提言する。

11:40 ~ 12:20

IT 研究会第 2 グループ

2. 量子コンピューターが保険業界にもたらす影響

0.5 単位<IT>

司会

石田 友貴 君 (第一生命情報システム) 森谷 雅史 君 (三井住友信託)

研究メンバー

金丸 堯明 君 (大樹生命)	森田 くみ子 君 (MS&AD システムズ)
倉持 裕介 君 (富国生命)	行廣 鎮 君 (大同生命)
陳 錦威 君 (AIG 損害)	芳野 和久 君 (全共連)
津久井 沙織 君 (明治安田生命)	渡邊 知樹レイモンド 君 (大樹生命)
前田 実津季 君 (プルデンシャル生命)	

■ 要旨

量子コンピューターは、従来のコンピューターに比べ、大幅に計算・処理能力が高く、様々な業界でイノベーションをもたらすことが期待されている。現在、世界中で量子コンピューターの研究開発が活発になっている。実用化に向けた取り組みも進められている。

我々第 2 グループでは、量子コンピューターの概要と最新動向を述べる。また、量子機械学習、暗号化技術、ポートフォリオの最適化の 3 つの技術にフォーカスする。3 つの技術において、量子コンピューターの活用により期待できること、保険業界への影響について提言する。

○午後の部 (13:20 ~ 17:30)

IT 研究会活動報告

13:20 ~ 14:00

IT 研究会第 3 グループ

3. エンベデッド・インシュアランスから見る保険サービスのイノベーション

0.5 単位<IT>

司会

山本 直彦 君 (富国生命) 渡井 和昭 君 (ニッセイ情報)

研究メンバー

水野 里美 君 (富国生命) 植田 翔太 君 (あいおいニッセイ同和損害)
村木 幹典 君 (富国生命) 篠原 優 君 (JWS)
管井 優花 君 (プルデンシャル生命) 坂田 大輔 君 (ニッセイ情報)
前島 智弘 君 (かんぽ生命)

■要旨

消費者の購買行動の変化によりモノやサービスのオンライン購入がますます拡大する中、保険商品を他社の商品・サービスに組み込んで提供する「エンベデッド・インシュアランス(組込型保険)」が、新時代の保険販売手法として注目されている。組込型保険は国内外で多くの事例を確認できるが、そのほとんどが損害保険商品を組み込んだものであり、生命保険を組み込んだ事例は少ない。

我々第 3 グループでは、組込型保険を活用した新しい生命保険販売手法について研究を進めてきた。少子高齢化や多様な働き方の出現など、社会環境の変化に沿った新しい販売手法の確立について提言する。

14:10 ~ 14:50

IT 研究会第 4 グループ

4. Web3.0 時代における共通基盤の実現性について

0.5 単位<IT>

司会

松岡 靖之 君 (三菱 UFJ 信託銀行) 勝海 宏 君 (プルデンシャル生命)

研究メンバー

佐々木 大地 君 (明治安田生命) 池野 僚亮 君 (全共連)
小山 祐輝 君 (明治安田生命) 平賀 智之 君 (ニッセイ情報)
水谷 圭祐 君 (明治安田生命) 光吉 堯 君 (ニッセイ情報)
安部 裕介 君 (富国生命)

■要旨

今後、Web3.0 の時代(個人がデータに対する主権を持ちデータを利用する、これまでのインターネットから進化した世界)が到来すると言われており、データの用途は、企業のための利用(マーケティング、囲い込み等)から、顧客(個人)中心のサービス提供の為の利用(サービスの個人最適化 等)に変化すると推察される。

我々第 4 グループでは、今後も保険会社が提供する価値(※)は不変であるという考えのもと、保険業界が Web3.0 の世界に適應する一案として「顧客(個人)中心のサービスを提供するための業界共通データ活用基盤の仕組み」を提言する。

※将来に対する安心提供(発生しうる万が一の事故や病気等による経済的損失や発生確率の理解と予防・補填)

5. 保険業界における真の崖 ～みんなを救う翼（マイグレーション）～

0.5 単位<IT>

司会

廣田 賢史 君 (大同生命) 福光 純子 君 (ニッセイ情報)

研究メンバー

山根 綾介 君	(住友生命)	井上 紗希 君	(大同生命)
高橋 秀徳 君	(住友生命)	三室 勇人 君	(大同生命)
高木 悟 君	(朝日生命)	笹川 圭介 君	(ニッセイ情報)
大橋 陽向 君	(朝日生命)	藤本 春香 君	(ニッセイ情報)

■ 要旨

みなさまは保険業界に真の崖が迫っていることをご存じでしょうか？

2025 年の崖という言葉が一般的になり、各種業界で IT 投資がなされ、保険業界においてもマイグレーションの必要性が高まっています。時代背景(労働人口の減少や VUCA 時代)による保険業界への影響から、メインフレーム固有の課題となる COBOL 等のレガシー技術やメインフレーム技術者の不足、ブラックボックス化等がますます進行してまいります。

我々第 5 グループは、前述の課題を踏まえた経営視点での「独自の崖」を設定し、崖の越え方=マイグレーションの意思決定基準や実際の移行方式等、保険業界にとって最適な翼を授けます。

司会

増田 浩之 君 (全共連)

「web3 がもたらす保険/共済の可能性」

植田 良平 氏 (アビームコンサルティング (株) 金融ビジネスユニット 執行役員 プリンシパル)

■ 要旨

「web3」というキーワードは、2021 年頃から広く注目されており、特に日本では政府が web3 を「新しい資本主義」の重点投資分野と位置づけるなど、高い注目を集めています。しかし、web3 については明確な定義が難しく、多くの人々が異なる視点から捉えています。一部の人々は web3 を暗号資産 (仮想通貨) の投機的な要素と結びつけ、また同じく注目を浴びるメタバースと混同している一方で、技術者にとっての専門的なテーマと捉える向きもあります。さらに、web3 に対して懐疑的な立場をとる人々も存在します。この講演では、web3 を社会変革の思想・潮流として広く捉えた上で、web3 についての正しい理解が進むよう、その基本要素から日常生活やビジネスでの応用例まで解説します。さらに、web3 が保険/共済業界の課題解決や価値向上にどのように貢献できるかを考え、その可能性を提示します。

講演要旨

- ・ web3 の基本要素と全体像
- ・ web3 の応用例 (金融・保険、その他)
- ・ web3 の思想からみる保険の未来と人材育成のあり方

■ 講師プロフィール

植田 良平 氏

アビームコンサルティングにて、保険業界向け経営コンサルティングサービス提供や、web3 領域等の新規サービス開発を統括しており、営業・事務改革、人材育成、新技術 PoC 等の変革プロジェクトを推進してきた。シンガポール駐在経験があり、異文化環境での経験を活かして、グローバルプロジェクトにも多く関与している。大学卒業後に大手損害保険会社に入社以降、約 30 年に渡って国内外の保険業界に携わってきた。web3/メタバース、エンベデッド・インシュランス等に関する執筆や講演も行っている。デジタル人材育成学会・役員。

技術グループによる展示

2月9日（金） 9:30 ～ 16:30 ブース展示 於 大手町野村ビル 17階 大樹生命ホール

「価値創出に寄与する業界向けソリューション・サービスのご紹介」

日本IBM株式会社

■内容

テクノロジーが加速度的に進化し、ビジネス環境が目まぐるしく変化する中で事業機会を捉え自社の強みを発揮し勝ち抜くためには、従来の方法や観点の見直しとデジタル化の掛け合わせによる新たな価値創出が重要課題になっています。

IBMは従来より、技術の基礎研究や先端技術を活用したソリューションの構築・ご提供を通じて業界の発展に貢献してまいりました。

今回のIBMブースでは、価値創出の核となる技術要素とその活用例としてのソリューションやサービスをご紹介します。

ぜひお立ち寄りください。

「ノーコード開発プラットフォーム Unqork のご紹介」

株式会社日立製作所

■内容

「Unqork」は、米国のUnqork社が提供する、ドラッグ&ドロップなどの直感的なGUI上の操作でアプリケーションを開発・運用できるノーコード開発プラットフォームサービスです。

システムの開発において、煩雑なコーディングの手間から解放され、製造工程の工数削減*や短期間での仕様変更の取込みに貢献します。

当社は、Unqork社から日本国内初の技術サポート体制を有する「ソリューションパートナー」として認定されており、ライセンスの販売とサポートサービスを提供可能です。

日立ブースでは、「Unqork」が提供する機能や活用ユースケースを、デモンストレーションを交えてご紹介いたします。

ぜひ日立ブースにお立ち寄りください。

*外部設計～結合テストで約50%の工数削減（当社比）

晩餐会

18:00 ~ 19:30

於 アーバンネット大手町ビル B1 DAY・NITE (デイ・ナイト) 大手町店

司会

森谷 雅史 君 (三井住友信託)

会場案内

2月9日(金)

大手町野村ビル 17階 大樹生命ホール

千代田区大手町2-1-1

TEL 03-6831-8000

2月9日(金)(晩餐会)

アーバンネット大手町ビル B1 DAY・NITE (デイ・ナイト) 大手町店

千代田区大手町2-2-2

TEL 03-5255-1414

諸連絡

○公式 CPD 単位について

- 継続教育要綱に基づき、IT 研究会活動報告・特別講演の聴講は、正会員の継続教育の対象です。
- プログラムにおける ○○単位<○○> は、公式 CPD 単位数および分野を表します。

○正会員の出席確認について

- 正会員を対象に当日会場で CPD カードによる出席確認を行います。
- 「午前の部」「午後の部」それぞれで出席確認を行います。
- 途中からご来場される方は、ご来場時に出席確認を行いますので、早めのご来場をお願いいたします。